

データセンターを活用した ローカル5G検証

旭化成ネットワークス株式会社

事業企画部 新規事業開発グループ 渡邊 洋

旭化成ネットワークスのご紹介

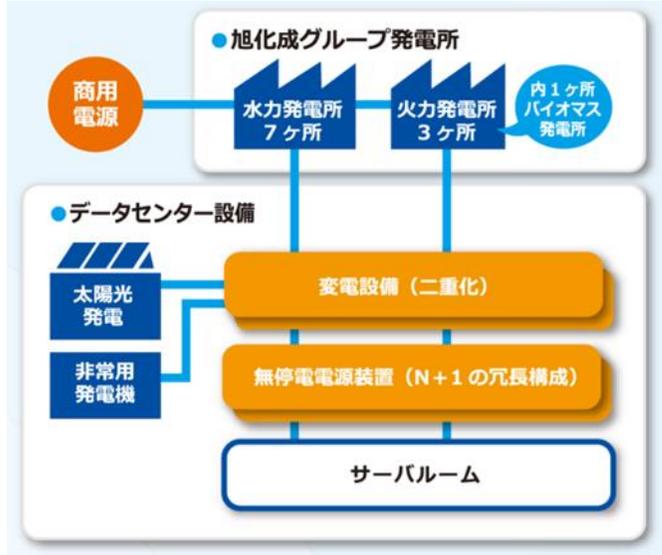
社名	旭化成ネットワークス株式会社
設立	2003年10月
事業開始	2004年8月
所在地	宮崎県延岡市
資本金	4億円（旭化成株式会社100%出資）
主要事業	データセンター事業、クラウド事業、ネットワーク事業
代表取締役社長	小金澤 晃

当社データセンターの特徴

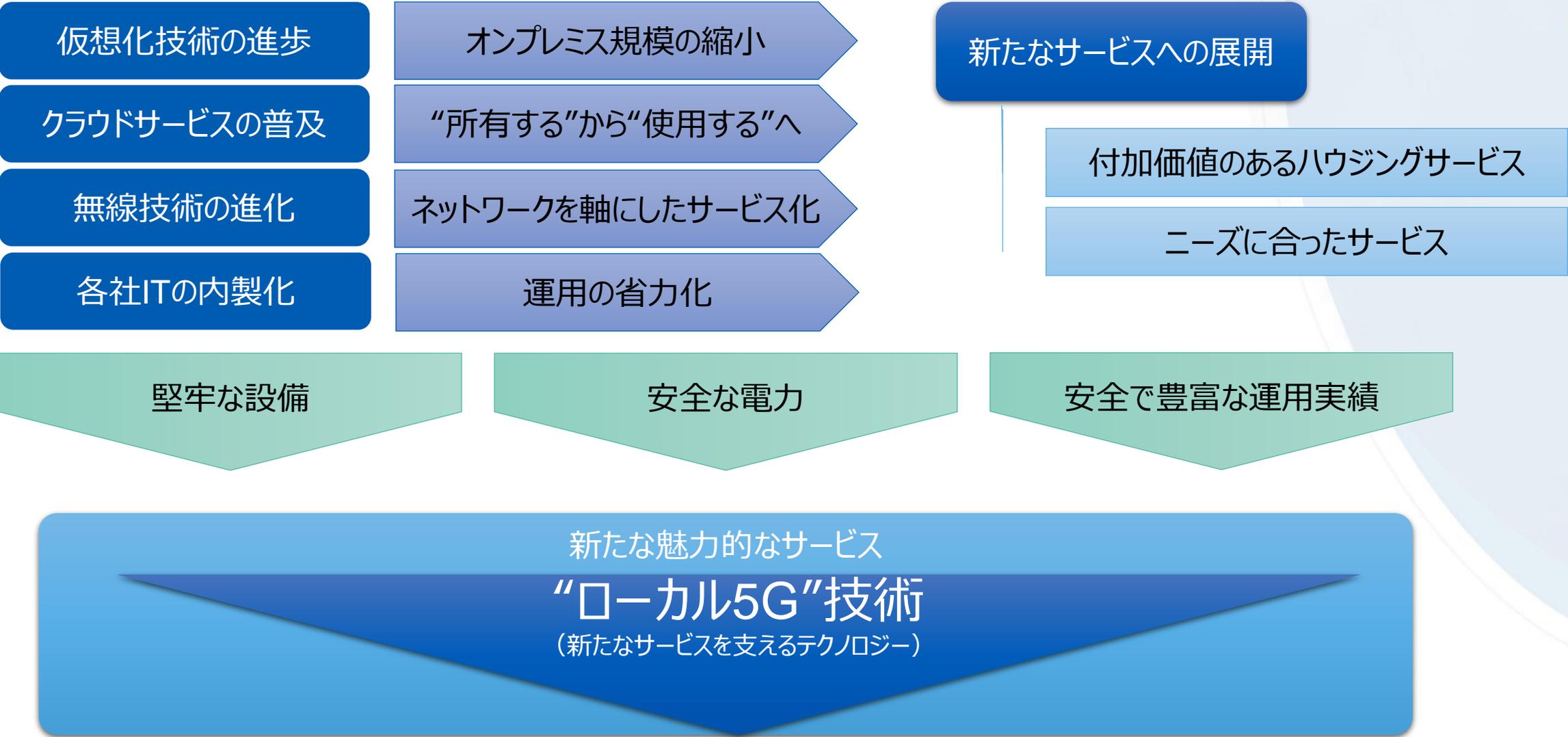
堅牢で安全なファシリティ

クリーンで安全な電力

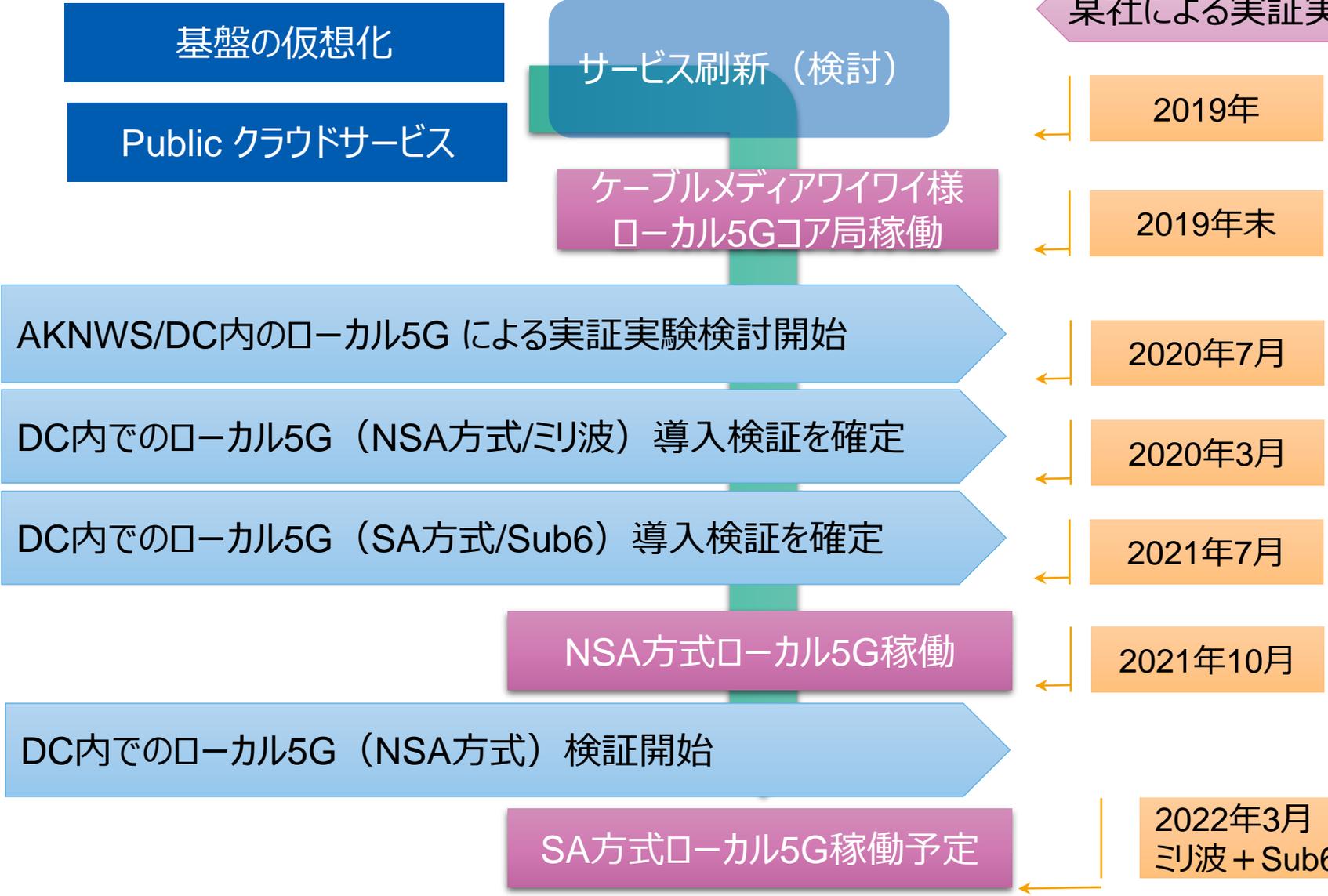
24時間365日安全な運用



ローカル5G検証を開始した背景



ローカル5G検証を開始した背景



データセンターを活用したローカル5G検証の目的

(1) DC内でローカル5Gの性能を評価する

- ミリ波 (28GHz)及びSub6 (4.8GHz)それぞれの電波特性の違いを検証
- ラックの乱立するデータセンター内を活用し、各電波の特性 (有効性) を検証
- ローカル5Gで活用する為の各種デバイス (接続端末) の稼働を検証

(2) ローカル5Gサービス化に向けた運用検証

- 監視/運用体制の検討・実稼働による検証・見極め (無線通信インフラとしての可用性の確保)
- 障害発生時の対応及び対応検討ポイントの洗い出し (サポートサービスの基準化)
- ネットワークインフラとしての完全性の確保：
キャパシティ及びサービスレベル管理の確立 (監視・管理システム検証)
ネットワークインフラを構成する機器及びソフトウェアにおける構成管理、変更管理検討

(3) ソリューション構築・性能検証 実サービス化

- 5G無線設備を利用した様々なソリューションの稼働検証 (有効性検証) の実施

ローカル5G検証ソリューション

◆ スマートグラスを活用したXRソリューションの検証

- AR（拡張現実）技術を活用した情報共有
- VR（仮想現実）技術を活用し疑似操作、疑似体験
- MR（ARとVRの融合）技術を活用した操作支援

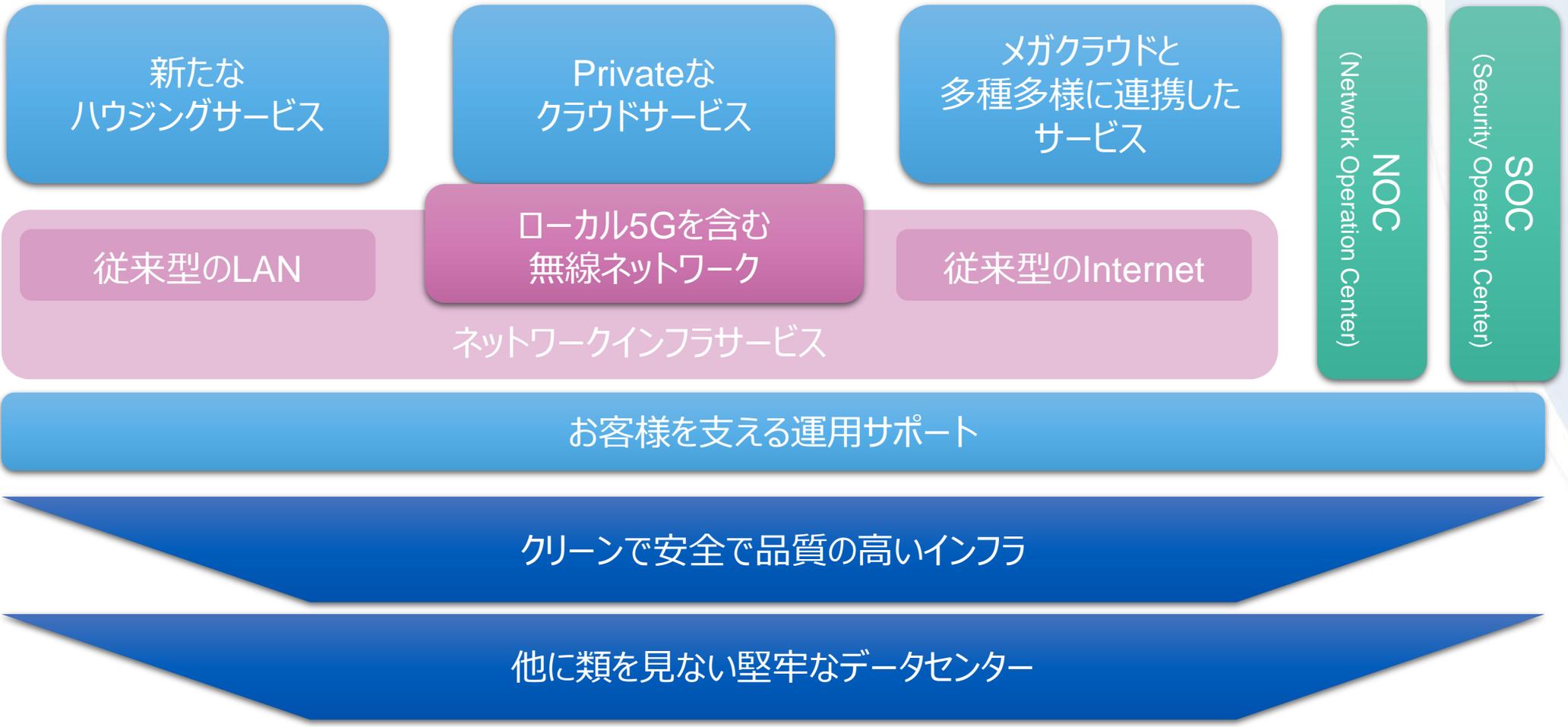
◆ 各種デバイスの接続検証

- センシングデバイス等様々なデバイスを活用した環境情報、バイタル情報等の収集しデータの可視化及びデータを活用したソリューションの検証、併せて各種デバイスの接続検証（ハンドオーバー検証も実施）

◆ データセンター設置機器の無線化共同検証

- データセンター内に設置される機器の無線化検討（各種通信モジュールの共同検証等）

ローカル5Gを活用した今後サービス展望



CoCo-CAFE NOBEOKA

共創空間

ローカル5G環境を備えたオフィス、ラボ、会議室展示スペース

共創機会

先端技術等の情報共有の機会の提供

コーディネーター

ニーズ、課題の実現に向けた支援



フリーオフィス



展示エリア



ラボエリア

参考情報 延岡市との取り組み



本文へ | サイトマップ | 文字を大きくしてみるには

ENHANCED BY Google 🔍 検索

ホーム > くらしの情報 > まちづくり > ローカル5G等を活用した地域課題解決に関する取り組みを推進するための連携協定の締結

ローカル5G等を活用した地域課題解決に関する取り組みを推進するための連携協定の締結

掲載日：2021年2月26日

延岡市は、旭化成株式会社、旭化成ネットワークス株式会社、株式会社ケーブルメディアワイワイと、ローカル5G等を活用した地域課題解決に関する取り組みを推進するため、2021年2月25日に、延岡市議会議長の立ち合いのもと、4者間の連携協定を締結しました。

今後は、協定者それぞれの相互連携のもと、ローカル5G等を活用した実証を通じ、様々な地域課題の解決や市民生活の向上、ポストコロナを見据えた延岡市の発展を目指します。



締結式写真(左から読谷山洋司市長、濱井研史旭化成延岡支社長、小金澤晃旭化成ネットワークス社長、木田宏ケーブルメディアワイワイ専務、松田和己議長)



本文へ | サイトマップ | 文字を大きくしてみるには

ENHANCED BY Google 🔍 検索

ホーム > くらしの情報 > まちづくり > 「スーパーシティ型」国家戦略特別区域への応募に向けた連携事業者(候補者)の選定結果
 ホーム > 働く情報 > 入札・発注 > 「スーパーシティ型」国家戦略特別区域への応募に向けた連携事業者(候補者)の選定結果

「スーパーシティ型」国家戦略特別区域への応募に向けた連携事業者(候補者)の選定結果

掲載日：2021年3月2日

延岡市では、これまでの官民連携による取り組みを活かしながら、デジタル化の更なる推進を図ることに、まちの魅力をより一層高め、市民の豊かな暮らしの実現に向けたまちづくりを展開するため、内閣府が公募を行っているスーパーシティ型国家戦略特別区域への応募に向けて、市と一緒に連携して取り組んでいただける事業者の公募を実施いたしました。

公募の結果、48件の企画提案書が提出され、審査の結果、以下のとおり連携事業者(候補者)を選定させていただきましたので公表いたします。(なお、グループを構成する事業者を含めると107の事業者から提案がありました。)

令和3年3月1日

延岡市スーパーシティ構想に係るアイデア等公募の審査結果について

延岡市スーパーシティ構想の実現に向け、連携事業者(候補者)を以下のとおり選定しました。

1. データ連携基盤整備事業 <全8事業者>

アクセントア株式会社	東京大学大学院情報理工学系研究科附属 ソーシャルICT研究センター
株式会社エルテス	西日本電信電話株式会社
株式会社クラスジャパン学園	日本電気株式会社 宮崎支店
株式会社ケーブルメディアワイワイ	PwC コンサルティング合同会社

2. 先端的サービスを提供する事業 <全40事業者>

あいおいニッセイ同和損害保険株式会社	シークリーホールディングス株式会社
株式会社アイ・ディー・イー	第一勧業信用組合
空き家活用株式会社	ダブルフロントピア株式会社
旭化成ネットワークス株式会社	ためま株式会社
旭化成株式会社 延岡支社	株式会社 DK-Power
株式会社アドインテ	株式会社テレビ宮崎
株式会社エルテス	東京学芸大学
大阪大学人間科学研究科	東京大学大学院情報理工学系研究科附属 ソーシャルICT研究センター
株式会社オーシャンブルースマート	西日本電信電話株式会社
隼山ラボ	日本電気株式会社 宮崎支店
キャスレーコンサルティング株式会社	株式会社ネクイノ
株式会社教育情報サービス	VANDDD 株式会社
行政システム九州株式会社	フェリカポケットマーケティング株式会社

ご清聴ありがとうございました。

AsahiKASEI

Creating for Tomorrow

THE COMMITMENT OF THE ASAHI KASEI GROUP:

To do all that we can in every era to help the people of the world make the most of life and attain fulfillment in living.

Since our founding, we have always been deeply committed to contributing to the development of society, boldly anticipating the emergence of new needs.

This is what we mean by “Creating for Tomorrow.”

